

コンクリート廃材の有効利用に関する研究委員会

1. 目的

現在ほとんど手付かず(四国内で年間 300 万トン, 今後昭和 30 年代の建築物の解体によりさらに大量発生する見込み)の状態となっているコンクリート廃材の有効利用の促進。

2. 活動内容

(当面)

- ・用途の発掘をにらんだ, 連携先の模索。

(中長期)

- ・処理, 製造, 施工法の検討

3. 委員会構成

- ・委員長 中田慎介(高知工科大学)

・委員(依頼予定) 各県庁土木部, 建設, 生コンクリートリサイクル業, その他
(必要に応じて入会要請)